

平成31年度 当初予算のポイント

行田市

1 総括

平成31年度の当初予算は、多様化する行政需要に対応するため、徹底的なコスト縮減と、事業の選択と集中を図るとともに、「行田市版骨太の方針」の3つの柱である「人口減少対策」「安心安全の確保」「魅力あるまちの創出」を推進する重点政策や「行田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく事業に、財源を優先的に配分したところである。

第5次行田市総合振興計画に定める市の将来像である「古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ」の実現を目指し、財政健全化の取り組みを継続しつつ、市民と行政との創意工夫により、活力と希望に満ちたまちを目指すものである。

2 予算規模

一般会計予算

258億8,000万円 (前年度当初比 +2.3%)
(30年度 253億1,000万円)

全会計総計(一般会計、特別会計、公営企業会計)

477億7,250万円 (前年度当初比 +2.6%)
(30年度 465億7,190万円)

<参考> 一般会計当初予算の推移

(単位：千円、%)

年 度	22	23	24	25	26
当初予算額	24,140,000	24,530,000	23,680,000	24,680,000	25,860,000
伸 び 率	5.9	1.6	△3.5	4.2	4.8
年 度	27	28	29	30	31
当初予算額	25,880,000	25,850,000	25,210,000	25,310,000	25,880,000
伸 び 率	0.1	△0.1	△2.5	0.4	2.3

3 歳 入

- (1) 市税収入は、配偶者控除及び配偶者特別控除の改正により、市民税が減収となるものの、固定資産税において新增築家屋や企業等の設備投資による増収を見込んだことから、前年度比2,150万円(+0.2%)の増となった。

＜参考＞ 市税の推移

(単位：千円、%)

年 度	27	28	29	30	31
当初予算額	10,023,831	10,019,626	10,168,432	10,230,067	10,251,570
伸 び 率	0.3	△ 0.0	1.5	0.6	0.2
構 成 比	38.7	38.8	40.3	40.4	39.6
決 算 額	10,312,697	10,332,171	10,584,401	—	—
伸 び 率	△0.7	0.2	2.4	—	—

- (2) 地方交付税は、前年度決算見込みと地方財政計画の内容、合併算定替による影響を考慮した結果、41億4,000万円の計上(前年度比△1億円、△2.4%)となった。
- (3) 財源不足を補うための基金取崩しについては、財政状況が厳しいことから、財政調整基金から4億5,000万円(前年度比+5,000万円)、職員退職手当基金から2億円(前年度比+1億3,000万円)を計上した。
また、ふるさとづくり事業に充てるため、ふるさとづくり基金から2,640万円(前年度同額)の取崩しを計上した。
- (4) 市債は、合併特例債をはじめとした交付税措置のある有利なものを活用することとしている。市債発行額は、19億6,730万円(前年度比△6,940万円、△3.4%)を計上し、市債依存度は前年度比△0.4%の7.6%となった。
市債発行額が減少した理由は、臨時財政対策債の減少、中学校体育施設耐震改修事業や消防施設整備事業の終了などによる。

＜参 考＞ 市債(一般会計)の推移

(単位：千円、%)

年 度	27	28	29	30	31
当初予算額	2,785,800	2,579,000	1,971,500	2,036,700	1,967,300
伸 び 率	△ 17.6	△7.4	△23.6	3.3	△ 3.4
依 存 度	10.8	10.0	7.8	8.0	7.6
年度末現在高	27,659,798	27,290,188	26,624,736	25,910,346	25,221,728
伸 び 率	1.2	△1.3	△ 2.4	△ 2.7	△ 2.7
特例地方債を除いた残高	11,969,268	11,393,970	10,613,072	9,911,993	9,439,453
伸 び 率	△1.9	△4.8	△ 6.9	△ 6.6	△ 4.8

※ 30年度末、31年度末における市債残高については見込み数値

(1) 「行田市版骨太の方針」重点政策

① 人口減少対策

《企業誘致などによる雇用環境の創出》

○ 起業家支援事業 ・市内の空き店舗等を利用して新規に事業を開始する者への助成	13,912千円
○ 企業立地促進事業 ・企業立地奨励金	249,191千円
○ エコノミックガーデニング事業 ・中小企業振興事業補助金 他	16,635千円
○ 若小玉地区産業団地整備事業 ・地域産業の活性化と雇用の創出を図るため、企業誘致の用地として産業団地を整備	25,384千円

《特色ある教育の推進》

○ パワーアップサポーター配置事業 ・児童の学力と教師の指導力向上を図るため、ベテランの非常勤講師を配置	10,148千円
○ 少人数学級編制事業 ・市費負担教職員を任用し、小中学校で少人数学級編制を実施	128,800千円
○ ホップ・ステップ・ジャンプ外国語教育事業 ・全ての外国語活動及び外国語授業に配置できるように、常勤の外国語指導助手を2名増員	57,648千円
○ 中学生海外派遣事業	6,828千円
○ きらきらサポーター配置事業 ・小中学校の特別支援学級等で児童・生徒の学校生活を補助するサポーターの配置	33,862千円
○ 早期療育事業 ・発達に課題のある幼児・児童を対象に早期療育を実施	3,881千円
○ いじめ対策事業 ・いじめ問題対策連絡協議会設置 ・さわやか相談員配置 他	14,047千円
○ コミュニティ・スクール事業 ・地域住民が各小中学校の学校運営に参画する体制を確立	1,972千円
○ マイ足袋作製体験事業 ・小学校3年生の「ぎょうだの学習」のまとめとして、マイ足袋作製体験学習を実施	1,369千円
☆ 学校図書室ボランティア配置事業	1,200千円

《子育て環境の充実》

○ 子育て世帯定住促進事業 ・転入者住宅取得奨励金 ・市内事業者施工奨励金 ・三世帯同居・近居奨励金 ☆市内在住者中古住宅取得奨励金	48,000千円
○ 移住・定住プロジェクト事業 ・移住・定住コンシェルジュの配置 ☆移住・就職相談会 ☆専用のポータルサイト作成 ☆大手検索サイトにバナー広告掲載 ・イベント出展、移住体験ツアー、移住者交流会の実施等	7,788千円
○ 子ども医療支給事業 ・入院・通院ともに18歳に達する日以後最初の3月31日まで医療費を無償化	280,604千円
○ 多子世帯給食費給付事業 ・市立小・中学校又は特別支援学校に在籍している児童・生徒を3人以上養育している保護者 に対し、3人目以降の児童・生徒の学校給食費を給付	7,000千円
○ 子育て包括支援センター運営事業 ・妊娠・出産・産後間もない時期を安心して過ごせるよう切れ目のない支援を実施	5,440千円
○ 放課後児童対策事業 ・学童保育室運営（公設16、民設1） ☆（仮称）西第二学童保育室整備 他	217,160千円
○ 地域子育て支援拠点運営事業 ・きっずプラザあおい運営委託料 ・つどいの広場委託料（5カ所） 他	28,258千円
○ 病児・病後児保育事業 ・保護者の就労等で家庭での看護が困難な小学校3年生までの児童の預かり保育を実施	16,086千円
☆ 保育コンシェルジュ配置事業 ・保護者の個別ニーズに応じた保育所等の情報提供など、保護者に寄り添う支援を実施	2,939千円
○ 子どもの居場所づくり事業 ・子ども食堂事業、放課後居場所づくり事業	840千円

② 安心安全の確保

◀地域づくりの推進▶

- 安心生活創造事業 3,223千円
・ 市民が地域で支え合う「いきいき元気サポート制度」を実施
- 市民活動サポートセンター運営事業 2,326千円
・ 市民活動サポートセンターを中心に協働のまちづくりを推進
- まちづくり元気創出事業 1,000千円
・ 自治会がまちづくりの先導的役割を担うための足がかりをつくるための補助
- 防犯灯設置費及び電気料補助事業 13,474千円
・ 自治会に対し、防犯灯の新設、移設、修繕の費用の一部及び電気料の一部を補助
- 循環バス運行事業 91,000千円
・ 高齢者等の交通手段の確保、市内施設利用者や観光客等の利便性向上のため全6路線を運行
- デマンドタクシー事業 22,130千円
・ 交通弱者（75歳以上の高齢者及び障害者）の移動手段を確保するため、利用料金の一部助成
- 生活路線バス支援事業 17,494千円
・ 路線バス吹上線運行経費の一部補助
- 運転免許証自主返納者支援事業 1,863千円
・ 運転免許証自主返納者の移動手段を確保するため、タクシー券を交付
- ☆ 防犯カメラ設置事業 1,957千円
(設置箇所：JR行田駅、秩父鉄道行田市駅・東行田駅)

◀適切なインフラの整備▶

- 幹線道路整備事業 65,332千円
・ 主要幹線道路整備
- 橋りょう長寿命化事業 61,999千円
・ 道路法改正に伴う、橋りょう点検・修繕工事を実施
- 橋りょう新設改良事業 89,090千円
・ 新橋設置
- 排水路等整備事業 207,027千円
・ 出水対策事業（西新町、藤原町一丁目、他） 他

◀防災体制の強化▶

- 消防施設整備事業 76,023千円
・ 消防車両の更新（CD-1型消防ポンプ自動車） 他
- ☆ 洪水ハザードマップ改訂版配布事業 1,500千円
・ 国土交通省より新たな浸水想定区域が示されたため改訂版を配布
- 老朽空き家等解体補助事業 3,500千円
・ 解体工事費用又は、10千円/㎡のいずれか少ない額の1/2を補助（上限500千円）
- 木造住宅耐震改修等補助事業 600千円
・ 耐震診断費用の1/2を補助（上限50千円） ・ 耐震改修工事費用の23%を補助（上限200千円）
- 消防団員の処遇改善事業 17,770千円
・ 消防団員の処遇改善を行い、消防団組織の更なる充実強化を図る
- 緊急防災体制整備事業 11,921千円
・ 防災情報メール配信委託 ・ 避難所備蓄倉庫及び災害備蓄品の整備 他
- 公共施設耐震化関連事業（非構造部材） 263,000千円
・ 小学校 ・ 教育文化センター ・ 総合体育館（剣道場）

③ 魅力あるまちの創出

《健康づくりの推進》

- 市民けんこう大学開催事業 665千円
- 健康づくりチャレンジポイント事業 1,037千円
 - ・ 健康づくりに関する事業への参加に対してポイント制度を設け、活動参加を促進
(達成者全員に行田商店共通商品券贈呈)
- 禁煙チャレンジ応援事業 519千円
- 薬局を拠点とした健康づくり事業 697千円
 - ・ 禁煙サポーター薬局事業 ・ 糖尿病早期発見事業
- 各種疾病の早期発見事業 61,574千円
 - ・ がん検診など各種検(健)診の実施

《賑わいある都市拠点の整備》

- 日本遺産推進事業 8,800千円
 - ・ 日本遺産に関する情報発信や普及啓発を実施する、行田市日本遺産推進協議会への支援
- 旧忍町信用組合店舗活用事業 1,917千円
 - ・ 旧忍町信用組合店舗の活用を通じて、街なかの賑わい創出を図る
- 水城公園東側園地再整備事業 67,000千円
- ふるさとづくり事業(ふるさとづくり基金活用事業) 26,492千円
 - ・ 足袋蔵等歴史的建築物改修・活用事業への補助金
 - ・ 行田らしさを感じさせる建物改修、塀や看板の設置・改修への補助金
 - ・ 観光客向け案内標識、休憩・授乳施設等の整備に対する補助金
 - ・ 内部非公開の日本遺産構成資産を公開活用するための整備に対する補助金
- 行田らしいまち並みづくりと賑わい創出事業 23,414千円
 - ・ 歴史的街路整備事業
 - ・ チャレンジショップ事業 他
- JR行田駅前広場周辺再整備事業 200,609千円
 - ・ JR行田駅前広場再整備工事(H30~H31まで) ・ 駅前広場付帯工事
 - ☆道路拡幅用地購入費 ☆自転車駐車場整備工事
- 産業交流拠点整備事業 125千円

《地域資源などの活用による交流人口の拡大》

- 観光客誘致推進事業 82,959千円
 - ☆観光協会DMO化事業
 - ☆観光コンテンツ開発強化事業
 - ・ インバウンド観光推進事業
 - ・ 観光案内所運営事業 ・ 観光協会補助事業
- ☆ 行田創生RPGアプリプロモーション事業 464千円
- 「足袋のまち行田」活性化プロジェクト事業 13,000千円
 - ・ 「足袋のまち行田」活性化推進協議会への交付金
- 田んぼアート米づくり体験事業 18,000千円

(2) その他の主な事業

☆ 市民意識調査実施事業	2,800千円
☆ 旧勤労会館解体事業（設計）	1,300千円
○ ふるさと納税促進事業	10,462千円
☆ 総合振興計画策定事業 ・ 第6次総合振興計画（計画期間H33年度～H42年度）を策定	6,394千円
☆ 市制施行70周年記念事業実行委員会交付金 ・ 市民提案実施事業に対する補助 ・ 情報発信・PR事業	8,000千円
○ 住宅用太陽光発電システム設置補助事業	1,200千円
○ 住宅用高効率給湯器設置補助事業	1,500千円
○ 住宅用蓄電池設置補助事業	1,000千円
○ 斎場火葬炉改修事業 H28～H31年度の継続費（事業総額85,376千円）	19,764千円
☆ 古代蓮会館空調設備更新事業	55,000千円
☆ 商工センター空調設備更新事業	50,000千円
☆ 学校再編成事業 ・ 学校再編成に係る公立学校通学区域等審議会、交流事業バス借上	3,691千円
☆ 学校施設長寿命化計画策定事業	10,400千円
☆ 中学校給食用昇降機改修事業	16,000千円
☆ 富士見公園野球場防球ネット設置事業	42,000千円